

せいけん

詩集

第八十七篇

作：近藤せいけん

「寒さに 耐えて」

北の冷たい 風
北風にのつてくる 雪
凍る田畑
真冬の真っ只中
それでも じつと耐えている
土の中の虫たち 種たち
春風を待つて
春の香り 待つて
忍耐 しんばう がまん
人も
北の冷たい 風
北風にのつてくる 雪
凍る日々
人生の 真冬の真っ只中
それでも じつと耐えている人に
春風よ 吹け
春の香りよ 届け
忍耐 しんばう がまん

